

令和5年度 体力向上における各校の成果(小学校)

あわら市

教育委員会

No	学校名	成 果
1	芦原小学校 小学校	<p>秋のマラソン大会では、春のマラソン大会のタイムと比べ、タイムアップした児童が226名中125名いた。継続した業間マラソンの取り組みや、教員たちの声かけなど学校全体で協力して行い、児童一人一人が意欲的に取り組めた結果だと考える。</p> <p>マラソン大会や運動会、なわとび大会では多くの保護者に参観していただくことで、児童が頑張っている姿を見ていただくことができた。</p> <p>学校評価アンケートで、「業間マラソンや体力づくりに熱心に取り組んでいる」と答えた児童が96%で、目標を達成できた。</p>
2	北潟小学校 小学校	<p>業間運動では、晴天時に5分間マラソン、雨天時に雑巾がけリレーや平均台じゃんけん、冬季はなわとび、大なわなど、校舎を使ったトレーニングをするという活動を取り入れた。これらの活動により、体力テストの結果で、持久走やソフトボール投げの記録が、全学年、全国平均より大幅に上回った</p>
3	本荘小学校 小学校	<p>全校児童用アンケート(2月実施)で、「めあてをもってマラソンやなわとびなどの運動に取り組むことができたか」という質問に、「できた」もしくは「だいたいできた」と回答した児童の割合は92.6%となり、昨年度よりも約5%上がった。なわとびの苦手な子でも高い階級に上げられるようになわとびカードを改定したことで、なわとびを通して継続的に体力づくりができたからではないかと考えられる。</p>
4	金津小学校 小学校	<p>昨年度と比較し、握力は男子平均0.06%低下、女子平均1.19%向上。上体起こしは男子平均1.87%向上、女子平均3.05%向上。</p> <p>持久とびでは、学年の目標を達成した児童が昨年の218人(46.8%)から229人(47.8%)に増えた。</p> <p>カヌーポロ大会に3チームが出場し、地域のスポーツに親しみ、大会を盛り上げることができた。</p>
5	細呂木小学校 小学校	<p>特別活動において、日々マラソンに取り組んだ成果が体力テストのシャトルランにも表れた。全国平均を50とするTスコアに対し、男子は5.7ポイント、女子は10.7ポイント上回っている。</p> <p>その他種目においても、学年によって差異はあるものの、おおむね全国平均を上回る成績を収めている。</p> <p>学校評価アンケートでは、100%の児童が体育や体育的行事にめあてをもって取り組んでいると答えている。また、保護者の93%が年度初めと比べて、子どもの体力が向上したと答えている。</p>
6	伊井小学校 小学校	<p>体育の授業でICTを活用したことで、児童が技をできるようになるだけでなく、美しさを求めるようになった。さらに、撮ってもらった映像を見ながら話し合う姿が増え、子どもたちの主体的・対話的に学ぶ姿が見えるようになった。</p> <p>児童にドッジボール大会開催を伝えたときは、体育館でドッジボールの練習を自主的にする児童が増えた。以前は学年ごとに運動をしていたが、1～6年が協力して練習したり遊んだりする姿が見られるようになった。また、決勝に進出したチームの試合を観戦した児童が、「僕も、あんなふうに戦ってみたい」という前向きで発展的な気持ちを持ち、業間運動や休み時間に積極的に運動する児童が増えた。</p>
7	金津東小学校 小学校	<p>体力テストの結果から、20mシャトルランでは、全国平均と比べて4年生が+4.3回、5年生が+23.17回、6年生が+0.16回という結果だった。今後も、業間マラソン・なわとびは継続して取り組んでいきたい。また、たてわり活動を取り入れたことで、高学年が低学年を教えたり、低学年が高学年の上手な動きを真似したりする姿が見られた。また、各学年で競い合う姿も見られた。それにより、学校全体で体力の向上を図ることができた。</p>